

青い波北陽台

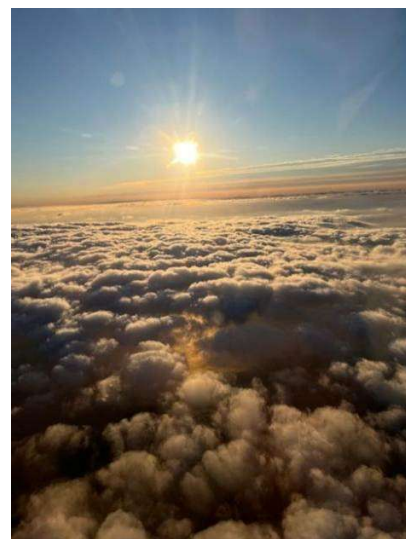
「丙午(ひのえうま)の歳(とし)に一馬当先(いちばとうせん)」

校長 長池 一徳

右の写真は、今月1日早朝の飛行機内から撮影しました。

当日は、ラグビー部の全国大会3回戦を応援するため、長崎から大阪へ移動中でした。私にとっては、初めて空から見た初日の出でした。ご覧のような「雲上蒼天」に、陽光が眩しく差し込む絶景は、生徒たちの活躍のおかげで巡り合えた賜物です。改めて、長崎北陽台高校との縁に感謝感激した2026(令和8)年の幕開けでした。

さて、今年の干支は丙午(ひのえうま)で、私は丙午生まれの歳男です。私と同学年の生徒は、小・中・高校時代に前後の学年と比べて必ず1クラス少ないという、不思議な現象がありました。その理由は「丙午生まれの女性は気性が激しく、夫を不幸にする」という江戸時代ころから流れ始めた迷信の影響を受け、今から60年前の1966(昭和41)年の出生数が、前年比46万人減で、翌(昭和42)年には57万人増となる年齢別人口の谷間となったからでした。当時は、過熱気味のメディア報道により、社会全体が「丙午」に対する偏ったとらえ方があったとされています。現代でも、私たちの行動がメディアやSNS等に左右されることがあります。また、生成AIを用いたフェイク動画が出回るなど、情報の真偽を見極めるファクトチェックの力が試されるようになっていきます。デマや迷信に左右されない冷静な判断ができることは、昔も今も必要な力です。



2026(令和8)年初日の出



左の写真は、正門から生徒玄関へ向かう途中の掲示板です。三丸教頭先生から、毎回生徒の皆さんへのエールを掲げていただいています。新年最初は、こちらも干支にちなんで「一馬当先(いちばとうせん)」でした。誰よりも速く駆け出して、自分の道を切り拓くために、意識と行動、そして習慣を確立させていきましょう。

2026(令和8)年が、長崎北陽台高校にとって新たな飛躍の年となることを願います。

文理探究科1年 冬季研修

12月25日(木)、1年文理探究科は冬季研修を行いました。

2年生で理数探究を選択する生徒たちは、長崎総合科学大学で「医療機器」・「スマホゲーム」・「ロボット」の3つのグループに分かれて講座を受講しました。午後からは、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)にて講義受講と工場見学をさせていただきました。



医療機器を安全に動かしてみよう



ロボットを動かそう



スマホで動くゲームをつくろう



ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)

国際探究を選択する生徒たちは、長崎歴史文化博物館で「日本の貿易史と長崎」の講義を受講後、日本銀行長崎支店にて「財務教育プログラム」、十八親和銀行本店にて「金融リテラシー講座」を受講しました。



長崎歴史文化博物館



日本銀行長崎支店



十八親和銀行本店



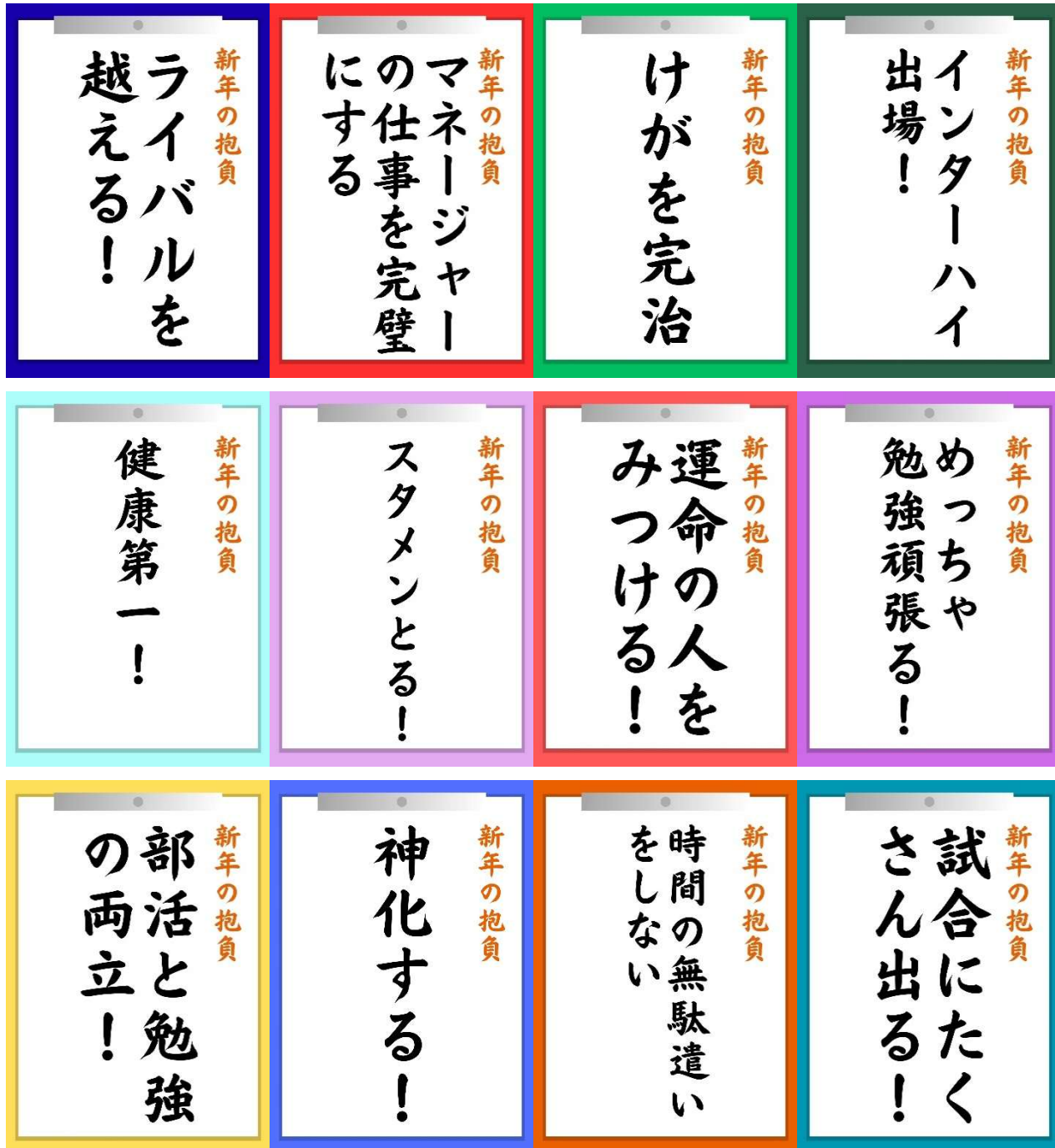
十八親和銀行本店

それぞれの研修先で、歴史や経済、工学について学び体験したことで、実りある研修となりました。

Decide Act Grow!

1 学年 朝野 美夏

2026年がスタートしました。3月まであっという間です。自分が設定した目標に向かって、ひとつずつ取り組んでいきましょう。うまくいかないときこそ振り返ることが大切だと思います。47回生の仲間とともに、素晴らしい一年にしていきたいと思います。



新年の抱負

課題を出す！

新年の抱負

ちよつと
やる気を出す

新年の抱負

健康に
過ぎす

新年の抱負

体を鍛える

新年の抱負

最下位脱出！

新年の抱負

勉強時間ゼロ
をなくす

新年の抱負

数学で
満点とる！

新年の抱負

いい点数とる！

～ 2026 年 始動 ～

2 学年担当 松田 加保里

2026 年が始まり、1 か月が経とうとしています。今年はどんな一年にしたいですか？新たな目標は立てたでしょうか？

4 月を迎えると「18 歳」がいよいよ目前となり、「大人になる」瞬間が刻一刻と近づいてきています。みなさんが小学校に入学し、中学・高校と送ってきた日常は、そろそろ終わりに向けてカウントダウンが始まります。例えば、修学旅行、校内合唱コンクールや体育大会などといった学校行事。「今年はクラスで〇〇を歌いたいな～」だなんて、たわいもない雑談も、来年はきっとありません。今まで当たり前だと思い込んでいたことは、人生最後の大事な瞬間となってしまうわけです。だからこそ、日々のその時、その瞬間を大切にしてほしいと思います。

そもそも、大人になるとはどういうことなのでしょう。海外でも多くの国が 18 歳、つまり高校を卒業すると「大人」になります。しかし、海外の方々のインタビューを聞いていると、同じ 10 代でもずっと大人びていて、目の前のみなさんと世界の高校生の考え方の差がなぜこんなに大きいのか、不思議に思っていました。先日、ラジオ番組の中でスウェーデン出身のタレント LiLiCo さんが、「スウェーデンでは、10 代になると“大人びた考え方”をすることが求められる」といった話をされていました。一朝一夕では大人になれないのだから、少しずつ社会や政治などに目を向け、これらを踏まえてそれぞれの生き方を考えていくのだと。この考え方の差が、日本人の“幼さ”を生むのだと感じたとき、私自身の不勉強さを猛省しました。「大人」になったはずなのに、いったいどれだけ社会に目を向けたうえで自分の考えを語れるのか。後悔しかありません。

だからこそ君たちには、「未来の大人」として小さな画面の中の楽しいことだけに意識を向けるのではなく、私たちを取り巻く世界の広さに触れてほしいと思っています。世界は広い。しかし、知ろうとしなければ、いつまでも小さな箱庭のままです。君たちがこれから自分の足で歩いていく道を考えるためにも、あがいて、もがいてを恐れず挑戦してほしいと願っています。

今年は間違いなく、勝負の年になるでしょう。それぞれの進路実現のため、着実なる前進を応援しています。がんばれ、46 回生！

「響き合う」強さを胸に

—共に高め合い、壁を超える—

第3学年担当 中川卓也

昨年四月に赴任してから、あっという間に十か月が経ちました。これまでの期間を振り返って特に印象深いのは、「合唱コンクール」や「健脚くらべ」などの伝統行事に対する生徒の皆さんの熱量です。今の世の中、あらゆる場面で「効率」や「タイパ（タイムパフォーマンス）」が重視されます。しかし、皆さんが努力を積み重ね、仲間と声を掛け合いながら一つのものを地道に作り上げていく姿からは、「一生懸命」にやることの価値や、「切磋琢磨」することの大切さを改めて実感させられました。これからも、自分自身がこの北陽台高校で多くのことを学び続けられることを嬉しく思います。

さて、三年生はいよいよ「最後の勝負」の時期です。毎日の授業や自学に真剣な表情で向き合う皆さんの姿に、私自身も身が引き締まる思いです。二次試験までのこの一か月間は、精神的にも体力的にも一番過酷な時期ですが、私は四十五回生の皆さんは必ずこの壁を乗り越えてくれると確信しています。そう思えるのは、夏の学習会での皆さんの姿を見たからです。実施後の感想文に多く綴られていたのは、「友達の姿に励まされた」という言葉でした。苦しい時に自分だけの力で踏ん張るのではなく、互いに刺激を受け、自分自身もまた誰かの力になる。そんな「響きあう集団」としての強さを持っている皆さんなら、この最後の正念場を必ずや突破できるはずです。

そして、この受験という経験は、単なる合格のための手段ではありません。これから皆さんが飛び出す社会には、正解のない問いがあふれています。そこで求められるのは、共通テストのような「効率的な正解探し」ではなく、自らの思考を深め、自分の言葉で表現するという、まさに今皆さんが鍛えている力です。「今の自分に何が足りないか」を問い、自ら計画を立て、仲間と切磋琢磨し、高めあう。この経験はすべて、社会に出てから自らの人生を切り拓くための大きな武器となります。

四十五回生の皆さんが、この冬に培った強さを胸に、社会へと力強く羽ばたいていくことを心から願っています。

2月の主な行事予定

- 1 日(日) 校外実力試験(2 年) 学校開放(3 年)
- 2 日(月) 試験時間割発表(1・2 年) 総探成果発表会(2 年普通科)
- 7 日(土) 校内オープン・学校開放(3 年)
- 9 日(月) 3 学期定期試験(1・2 年) 3 年授業 (~13 日)
- 11 日(水) 学校開放(3 年)
- 13 日(金) 午前:3 学期定期試験 午後:一般選抜会場設営(1・2 年)
3 年授業
- 14 日(土) 校内オープン・学校開放(3 年)
- 16 日(月) 第3 回北陽日(1・2 年) 3 年:午前中授業
- 17 日(火) 入学者選抜(~18 日)
- 19 日(木) 生徒登校禁止
- 20 日(金) 生徒校舎立ち入り禁止
- 21 日(土) 学校開放(3 年) ~23 日
- 24 日(火) 新宮高校との交流学習会(2 年理数探究)
3 年自宅学習(~25 日)
- 26 日(木) 代休
- 28 日(土) 式場設営・卒業式予行・記念品贈呈式・表彰式・同窓会入会式
スクールバス乗務員への花束贈呈式

